

天見小学校で小水力発電実験をしました。

9月2日（水）、総合的な学習の時間の一環で、天見小学校6年生の児童が小水力発電装置を組み立て、近くの水路で小水力発電に挑戦しました。発電装置を購入した「河川を美しくする市民の会」の副会長からの話の中で、大正時代には天見地区にも水車があって地域の電力を賄っていたことを聞き、みなさん驚いていたようです。組み立てた発電装置は、設置した水路で6ボルトの発電に成功し、LED電球を灯すことができました。今後、農業用電気柵のバッテリーの充電や街灯などへの電源として、小水力発電利用のPRを行っていきます。

